

# 福祉の仕事の魅力とは？

今回も市内の福祉事業所で働く方のインタビューをお届けします。やりがいや魅力にあふれた福祉の仕事。そんな仕事に皆さんも就いてみませんか。

## 社会福祉法人近江薫風会 特別養護老人ホームスマイル

細溝彬<sup>よし</sup>乃さん

自宅での生活が難しくなった要介護の高齢者が入居される特別養護老人ホームで、介護職員として勤務。入居されている利用者の方の、日々の生活のお手伝いをしています。

**【普段の仕事はどんなことを  
されていますか】**

普段は介護職員として勤務しています。入居されている利用者の方が快適に生活できるように、入浴や排泄など身体的な介助はもちろん、食事の提供など生活の援助も行っています。レクリエーションを行ったり、利用者の方の支援について関係者が集まって話し合う会議にも参加しています。また、年に数回程ですが、法人を紹介するための就職説明会に出向くこともあります。

**【福祉の仕事をしたと思った  
きっかけは何ですか】**

祖父母と一緒に住んでいるのですが、子どものころから祖父母が大好きでした。それがきっかけで高齢者に関わる仕事に就きたいと思いい、福祉関係の学校を卒業したあとこちらに就職しました。

**【福祉の仕事で感じるやりがい】**

福祉の仕事は人と向き合う仕事だと思っているので、利用者の方一人ひとりにあつたコミュニケーションの取り方や、かわり方を模索しています。信頼関係を築くことができたと感じた時や、私の言葉や行動、会話で笑ってくれた時にやりがいを感じます。

**【苦労している点】**

資格の取得を目指して勉強しているのですが、疲れて寝てしまうことがあります。働きながら勉強することは思ったより大変です。仕事面では大変だと思ったことはないですね。

**【これから福祉の仕事をする人にメッセージ】**

利用者の方から『ありがとう』と言葉をかけていただいた時や、喜んでおられる姿を見た時に、この仕事をやっていてよかったなと感じることがあります。また、利用者の方に対して自分たちは何ができるかを考えて、結果が出た時には、やりがいを感じられる仕事だと思っています。

**【コロナ禍で感じた思い】**

コロナ禍で面会を制限する等の対応をせざるを得なくなってしまうましたが、利用者の方がいらつしやる限りは、私たちは必要とされています。たとえどんな状況でも、いつも通りのサービスを提供しようという心構えが必要だと感じています。

**【事業所のPR】**

近江薫風会では、資格取得制度等、職員のスキルアップを後押ししてくれる制度もあり、月に1回程度外部講師を呼んでの内部研修も実施しています。最近では、感染予防や食中毒予防の研修を行いました。また、年に2回職員の交流事業を行っており、働きやすい職場作りに取り組んでいます。様々なことを職員同士で話し合っ決めており、意見や自分の思いを伝えやすい職場です。

# 社会福祉法人柏葉会 柏原こども園 保育教諭 北村 美世子さん



柏原こども園で、常勤での勤務。現在一歳児と日々の遊びを通してふれあいながら、身の回りのお手伝いを行っています。

## 【普段の仕事はどんなことを

### されていますか】

一歳児を担当しているので、子どもたちの身の回りのお手伝いをしています。家での生活習慣を大切にしながら、保育をしています。給食を食べる子どもの援助を行い、食べられるようにお手伝いをしています。好きなおもちゃと一緒に遊んだり、トイレトレーニングをしたり、子どもたちも楽しみながら成長できるように保育をしています。

## 【福祉の仕事で感じるやりがい】

子どもたちの成長を近くで感じられることに、保育教諭としてのやりがいを感じています。一歳児は発育・発達共に大きく成長する時期です。昨日まで歩けなかった子どもが今日初めて歩いた。初めてトイレトレーニングが成功したなど、子どもたちは毎日たくさんの成長を見せてくれます。そんな子ども達の日々の成長を保護者と一緒に喜び合うことに、保育教諭としての楽しさを実感しています。

## 【苦労のつらさ】

こども園での出来事を保護者にお伝えする際には、相手の気持ちを考えた言葉の選び方などに気を付けています。仕事をしながら、保護者は一生懸命子育てをされています。保育教諭として子どもの日々の成長と一緒に共感し、子どもの気持ちに寄り添うことはもちろん、保護者の気持ちにも寄り添う大切さも感じています。

## 【これから福祉の仕事をする人にメッセージ】

子どもたちの成長を感じる場面も多く、毎日楽しく仕事ができます。自分自身が楽しく仕事をする事で、周りにも保育教諭の仕事って楽しいんだと伝わるようです。子どもが十人いたら、十通りにそれぞれの成長があります。興味があるもの、好きな遊びも様々です。一人ひとりに寄り添いながら、それぞれに接する楽しさがあります。

## 【コロナ禍で感じた思い】

コロナ禍で大変な中でも、お仕事を休めない保護者もおられました。そんな中でも頑張ってお仕事に行かれる保護者にとって、園としてできることは、子どもの命を守ることでした。できる限りの感染対策を行いながら、自宅保育ができる方にはご協力をお願いしていました。今までこども園に通っていた子どもたちの日常が一変し、子どもや保護者にも不安な気持ちがあったと思います。そんな時だからこそ、こども園とご家庭とのつながりを感じてもらいたい。またこども園で、以前のように毎日みんなで過ごしたい。こども園から自宅保育中の子どもたちに向けて、自宅で遊べる塗り絵など遊びのセットを送りました。

コロナの影響で差別をするという、心が痛むようなニュースを聞きます。今年度は、こども園の行事も縮小し、地域での行事も中止になったと聞いています。今まで当たり前であった人と人とのつながりが薄くなっているように感じます。

## 【事業所のPR】

柏原こども園は、様々な年齢の保育教諭が働いています。「子どもたちの成長をサポートする」立場である保育教諭ですが、「職場同士で互いの体調を労わり、サポートすることができるとても温かい職場です。若い保育教諭から頼ってもらえる場面があったり、また周りの保育教諭から学ぶこともたくさんあります。職場のチームワークの良さがあるので、長年働くことができます。

## 【福祉の仕事をしようにと思った

### きっかけは何ですか】

以前、養護施設で働いていました。自分自身の子育てが落ち着いた頃、養護施設での経験があったことにより、親戚の方から柏原こども園でのお仕事のお話をいただきました。何より子どもが好きということが、福祉の仕事をしようにと思ったきっかけです。